



## 小学校統合に向けて 集団合宿で交流 ～ 関川チャレンジスクール～

間での交流を深めてもらおうと毎年行われているもので、今年には五つの小学校から五年生四十八人が参加。子どもたちは活動係や寝具係、生活係などに分かれて、集団生活を行いました。

開校式の後は、海洋センターに移動してカヌー体験を開始。カヌー初挑戦の渡辺樹さん（南赤谷）は「最初は落ちそうだったけど、スイスイ進んだのでとても楽しかったです」と、にっこりでした。

また、各学校での活動発表や創作活動、きもだめしなど、ふだん家ではできない経験に、子どもたちの表情はいきいきしていました。

八月十八日から二泊三日の日程で、宿泊体験教室「関川チャレンジスクール」が、県少年自然の家（胎内市）を会

場に行われました。この教室は、子どもたちが集団生活を通して、友だちと協力することの大切さや学校



## 生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは村民会館へ  
TEL 64-2134



## 図書室の窓から

村民会館図書室

暑かった夏も、日に日に秋らしい風を感じられるようになりました。秋の夜長、虫の声に耳を澄ませながら本に目を落とす。そんな過ごし方も良いかもしれませんね。

### この本よんで!!

「おおきなおおきなねこ」  
せな けいこ作 Eセ



毎年十五夜になると、カッパたちがやってきて大暴れ！おばあさんが困っていると、おおきなおおきな動物がやってきて…。十五夜のおみかせにぴったりの絵本。

### 今月の1冊

「1Q84 Book1・Book2」  
村上 春樹 著 913ム



村上春樹の話題作、ついに関川村図書室に上陸！そこに描かれているのは1984年を舞台にした近過去「こうであったかもしれない世界」。貸出予約受付中です。



### 今月の図書館バス

にじ色と、「汽車」のメロディーが目印です。

女川～川北～沢 方面…13(日)26(土)  
大島～大石～片貝方面…20(日)

19日(土)は **おはなしのかい**  
みんなできてね！おもちゃも作るよ！

ブルーベリーの皆さんが贈る、ステキなおはなしの世界…。ろうそくを使っての演出が幻想的です。家族みんなでの参加も大歓迎！無料です！

参加してくれた子どもたちにはかわいいシールをプレゼント！

祝日と毎週水曜日がお休みです。平日は13時～17時30分まで、土・日は9時～17時まで開館しています。

# あなたに直撃 (77)



横山元気さん  
(打上)

8月15日に行われた「第55回関川村成人式」に出席していた、横山元気さんにお話を聞きました。

成人を迎えた感想は？

正直あまり実感が湧きませんでした。小さい頃にテレビ番組で見た成人式は「とにかく大人！」という印象が強かったのですが、会ってみると少し振りなはずなのに、みんなほとんど変わっていませんでしたので、「大人！」という印象があまり感じられなかったです。

成人式に出席してみたいかですか？

みんなほとんど変わってなくて安心しました。自分は現在、神奈川で仕事をしていますが、こういう変わらないということが何よりも一番嬉しかったです。

今、夢中になっているものは？

仕事ですね。あまり他のことに時間を掛けられない毎日を送っているの、特に趣味といっても漫画や小説を読んだり、休日に買い物に出かけたりするというのが趣味といったところでしょうか。

これから関川村に望むことは？

変わらないでいてくれるのが一番ですね。子どもの頃から見知ったお店などは、帰ってきた時に「まだやってるんだ」と、思うだけで嬉しくなります。



夢中で化石を探す子どもたち

## 自然を満喫しながら お宝を発見!!

### 朴坂で子ども体験教室

もらおうと行われたもので、村内の小学生十人が参加。約百万年前、まだ村が海だった時代の貝の化石などをハンマーで砕きながら、平田永輝さん(四年・平内新)は「初めは難しかったけど、たくさん化石が採れてうれしかった」と話していました。

また、化石発掘後は小川でサワガニ採りに挑戦。ぬかるみに足を取られながらも夢中でサワガニを探しました。大きいサワガニを採った平田優希さん(三年・滝原)は「家で大切に育てたいです」と満足気でした。

子どもたちが夏休みに入ったことで行動範囲が広がることから、日常の危険防止を学ぶと、教育委員会主催の「子どもの安全対策講習会」が、八月五日、村民会館大ホール

## 子どもたちを 事故から守ろう

### 安全対策講習会を開催



会場に開催されました。

講師は、村上市スクールガード・リーダーで元警視庁警察官の瀬賀忠悦さん(村上市下相川)。講演では、交通安全や不審者対策、水難事故防止について、自身の経験談を交えながら分かりやすく説明をいただきました。

瀬賀さんは「夏休みは、子どもたちの開放感から、交通事故に遭うケースが多い。また、不審者対策などの防犯意識は年々高まっているが、子どもが助けを求めてきた時は、思いやりをもって対応してください」と説明し、参加者は防犯意識を高めていました。